

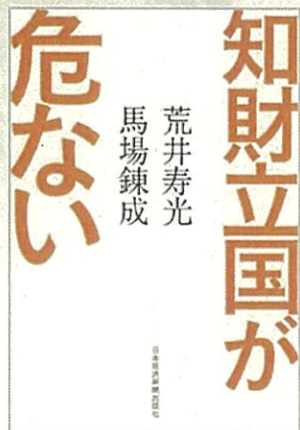
新刊！  
2月18日  
発行

## こうして日本は「周回遅れ」になった！

### 内容紹介

このままでは、競争力が失われる！！  
特許庁の審査のあり方から知財裁判所、  
企業の営業機密保護、コンテンツビジネスまで、  
現状の問題点と改革案を徹底討議。

- ・ 日本を追い上げ、追い越す韓国と中国
- ・ 「勝てない・少ない・遅い」日本の知財裁判
- ・ 日本の損害賠償金はアメリカの100分の1以下
- ・ ノーベル賞は取れても世界制覇できない日本企業
- ・ ガラパゴス化する国内特許
- ・ 日本企業の35%が技術流出を経験
- ・ 農業と医療で攻めの知財戦略を



定価一八〇〇円十税  
日本経済新聞出版社  
(三一〇頁)

元特許庁長官と科学ジャーナリストが  
徹底討議！

# 知財立国が危ない

## 荒井寿光 馬場錬成

著者について  
荒井寿光(あらい・ひさみつ)

知財評論家。1966年東京大学法学部卒。  
同年通商産業省入省。96年特許庁長官、  
02年知的財産国家戦略フォーラム代表、  
03年、内閣官房・知的財産戦略推進事務局長を歴任。  
著書に『知財立国 日本再生の切り札100の提言』  
『知財革命』など。

馬場錬成(ばば・れんせい)

科学ジャーナリスト。東京理科大学知財専門職大学院教授。  
01中国総合研究交流センター上席フェロー。  
東京理科大学理学部卒、読売新聞社入社。94年、論説委員。  
00年二月退職。  
著書に『ノーベル賞の100年』『中国ニセモノ商品』  
『大丈夫か日本のもの作り』など。

